

2023年 8月 27日

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②松岡 清枝姉

賛 美 聖歌498番「歌いつつ歩まん」
～ 栄 光 あ れ ～

詩篇23篇

聖書朗読 詩篇145篇1～10節

特別賛美 ベー・チェ Chorl 氏

メッセージ 「クリスチャン信仰の3つの生命線」
石井 潤 牧師

献 金 聖歌322番 ～静まって知れ～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 賛美「喜びがある」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝致します。午後は聖歌隊の練習が行われます。

☆今週の祈り会：○早天祈祷会、明朝6時。 ◎木曜祈祷会：①午前10時半
(大和祈祷会ライブ映像)。 ②夜7時半。 ○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週の日曜礼拝では誕生祝福式。午後は聖書の学びです(司:白川兄/祈:石井兄)。

《予告》9/17(日)「敬老祝福礼拝」(礼拝の中で記念品贈呈。昼食のもてなしはなし)。

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [8/27-9/3]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	使徒12 -14	15- 16	17- 19	20- 21	22- 23	24- 26	27- 28	箴言 1-4
チェック	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇

「クリスチャン信仰の3つの生命線」

～①賛美 ②祈り ③みことば～

「真夜中ごろ、パウロとシラスとは、神に祈り、さんびを歌いつづけたが、囚人たちは耳をすまして聞きいつていた。」使徒行伝16章25節／「良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ人たちです。」マルコ4章20節

私たちは三次元の世界に生きています。しかし、それは私たちの目に見える範囲での世界です。科学は唯物至上主義になる傾向があります。ですから、物質や科学で証明できないものは存在しないし、信頼しない所があります。しかし、私たちの世界には科学や人間の理解を超えた世界があることも事実です。しかも、その私たちの知らない世界の方がより大きく存在することも事実です。人間は傲慢な生き物です。自分が主役でないと気が済まないのでしょう。そして、自分が中心にいて、自分の理解できることだけで満足しようとしています。しかし、私たちはもっと広い心を持つべきです。

聖書は、キリスト教は霊的なものを大切にしています。私たちの目に見えない部分についてです。目に見えない、霊的なものが実は目に見える現実の世界を動かしているということを聖書は教えています（「信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉で造られたのであり、したがって、見えるものは現れているものから出てきたのでないことを、悟るのである。」ヘブル人への手紙11章3節）。私たち人間も肉体を持っていますが、実は霊的な存在なのです。その霊の部分において、私たちは整えられていかなければなりません。その世界を整えるために、「賛美」と「祈り」と「みことば」がとても重要な要素となります。

「賛美」を通して神様ご自身がご臨在くださり、豊かに働いてくださいます。「祈り」を通して私たちは神様ご自身と交わることができます。「みことば」を通して神様ご自身のみ思いを知り、私たちの心を整えることができます。

世界的な説教者であったハッドン・ロビンソン師は御自身のメッセージのイントロで、「私は音感の鈍い人間です」と告白されました。ある時、オレゴン州で副牧師をされていたとき、その教会の日曜礼拝がラジオで放送されていたのですが、先生が礼拝の司会をされていた時、讃美歌を一番歌ったところで、教会の執事の一人によって講壇から連れ出されてしまったそうです。それはラジオ局の音響担当者からこういう電話がかかってきたからでした。「いったい全体、何て人間をマイクの前に立たせてるんです？ 今すぐつまみ出してくださいよ！」と。でも、先生の友人や神学者たちは口をそろえてこう言ってくれたそうです。「君の場合、『主にむかって心からさんびの歌をうたいなさい(エペソ 5:19)』というパウロの命令を、厳密に守るよう神から求められてはいないよ。いいんだよ口では歌わなくても、心の中でだけ歌っていれば」と。

「賛美」も「祈り」も「みことば」もすべて霊的なものです。私たちの霊によって行われることであり、私たちの霊によって受け止めるものです。霊的な部分の理解をもっと深めていくことがとても大切です。そして、私たちの信仰の根がより深く神様ご自身に届くようになるのです。